

巻 頭 言



広島市長 松井 一實

平和を基調とする国際交流の推進

平成 30 年 7 月に西日本を中心に発生した豪雨災害につきましては、本市に対しても災害ボランティア、義援金など国内外の皆様から多大なるご支援を頂き、心よりお礼申し上げます。本市では、国や県、関係機関などのご協力を得ながら、一日も早い被災地の復旧・復興、被災された市民の生活再建に向けて全力で取り組んでいるところです。

73 年前、人類史上初めて原子爆弾の惨禍を被った広島市は、国内外からの支援と市民の不断の努力により、水と緑に囲まれた美しい都市へと生まれ変わりました。

これまで、本市では、ホノルル市を始まりに海外 6 都市と姉妹・友好都市提携を行い、さまざまな交流を推進するとともに、市民などが行う国際交流・国際協力に対する支援、留学生会館の整備・運営、アジアの諸都市からの研修員の受入れなど都市間交流、市民交流に積極的に取り組んでまいりました。

また、本市と長崎市が主宰する平和首長会議では、世界恒久平和の実現に向けて「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」の二つに取り組んでいくことを掲げ、世界の都市と連帯し、国際世論の醸成、平和活動を行う青少年の育成や市民の平和意識の啓発などさまざまな取組を推進しています。(平成 30 年 11 月 1 日現在、163 各国・地域の 7,675 都市が加盟)

本年度は、広島県や地元経済界との連携による東京 2020 オリンピック競技大会のメキシコ選手団の事前合宿の受入れ、障がいのある人となない人が一緒に行う国際ヨットレース「2018 ハンザクラスワールド&インターナショナルチャンピオンシップ」の開催、愛と平和の精神の下、1985 年以降、2 年に一度開催し、現在ではアカデミー賞公認の映画祭に位置づけられ、今年 17 回目を迎えた「広島国際アニメーションフェスティバル」の開催、美術の分野で人類の平和に貢献した作家の業績を顕彰するため、1989 年に創設した「ヒロシマ賞」の第 11 回受賞者の決定など、多種多様な分野において、国際的な交流事業を展開し、積極的に平和と友好のメッセージを発信しています。

さらに、次代を担う若者の国際交流も非常に重要であることから、平和貢献をテーマに本市および姉妹・友好都市を始め世界各都市の青少年が交流する「青少年国際平和未来会議」の開催や、広島市立大学が 2003 年から実施する「ヒロシマ」と「平和」を学ぶ夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」の開催を通じて、多くの若者が平和を核とした交流を深めています。

今後も姉妹・友好都市や平和首長会議のネットワークをいかして、幅広い国際交流・国際協力を進めるとともに、ヒロシマの願いである核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた協働の輪をさらに広げ、平和を基調とする国際交流を推進してまいります。